



2018年5月23日

各 位

会 社 名 関東電化工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 長谷川淳一  
(コード番号 4047 東証第1部)  
問合せ先 法務・総務部マネージャー 上原佳浩  
(TEL. 03 - 3257 - 0371)

### 2018年3月期 決算説明会資料


当社では、本日5月23日、機関投資家・証券アナリスト向けに2018年3月期 決算説明会を開催いたします。

2018年3月期 決算の概要、今後の業績見通しについて説明いたしますが、その資料を添付いたします。

以 上

# 2018年3月期 決算説明会

---

 関東電化工業株式会社  
2018年5月23日

1

## 説明内容

---

1. 2018年3月期 決算の概要
2. 業績の見通し・今後の動向

※増減率を除き、表示単位未満は切り捨てて表示

## 事業セグメント

名 称		内 容
基礎化学品 事業	無機製品	苛性ソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ、塩化アルミニウム等
	有機製品	トリクロールエチレン、パークロールエチレン、塩化ピニリデン、シクロヘキサノール等
精密化学品 事業	フッ素系製品	六フッ化硫黄、四フッ化炭素、三フッ化メタン、六フッ化エタン、三フッ化窒素、ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン、八フッ化プロパン、六フッ化タンゲステン、四フッ化ケイ素、三フッ化塩素、八フッ化シクロブタン、モノフルオロメタン、硫化カルボニル、五フッ化ヨウ素、六フッ化リン酸リチウム、ホウフッ化リチウム等
鉄系事業	鉄系製品	キャリアー、マグネタイト、顔料、鉄酸化物等
商事事業	関電興産(株)	化学工業薬品の販売および容器整備、保険代理店業務等
設備事業	(株)上備製作所	工場プラント建設、工場設備保全工事等

関東電化工業株式会社

3

## 関東電化グループ(連結子会社)

(単位:百万円)

	資本金	出資 比率%	2018/3期 個別売上高	対前年同期 増減	主要な事業内容
関電興産(株)	10	100.0	6,397	502	化学工業薬品の販売および容器整備、 保険代理店
(株)上備製作所	120	49.4	4,935	△374	化学工業用設備の製作・加工・修理
森下弁柄工業(株)	27	99.3	907	△32	鉄酸化物の製造販売
関東電化KOREA(株)	3 億ウォン	90.0	11,106	2,786	フッ素系製品の販売
台湾関東電化股份有限公司	7 百万NTドル	100.0	5,184	689	フッ素系製品の販売

合計	28,531	3,571
----	--------	-------

関東電化工業株式会社

4

## 連結・個別損益の概要

(単位:億円)

連結決算					個別決算			
	2017/3 (倍率)	2018/3 (倍率)	増減	増減率 (%)	2017/3	2018/3	増減	増減率 (%)
売上高	460 (1.13)	513 (1.10)	52	11.4	408	466	58	14.2
営業利益	93 (1.11)	90 (1.07)	△3	△3.4	84	84	0	0.6
経常利益	94 (1.09)	89 (1.00)	△4	△4.5	86	90	4	5.0
親会社株主に 帰属する当期 純利益	66 (1.08)	61 (0.97)	△5	△8.5	62	63	1	1.7

関東電化工業株式会社

5

## 連結決算のポイント

(単位:億円)

	2017/3	2018/3	差額
売上高	460	513	52
営業利益	93	90	△3
純利益※	66	61	△5

※親会社株主に帰属する当期純利益

### (1) 売上高 (+52億円)

- ・基礎化学品事業部門は、価格修正により増収(+0.6億円)
- ・精密化学品事業部門は、販売数量の増加により増収(+49億円)
- ・鉄系事業(△1.8億円)、商事事業(+2.1億円)、設備事業(+1.8億円)

### (2) 営業利益 (△3億円)

- 基礎化学品事業部門(△2億円)、精密化学品事業部門(+2億円)
- 鉄系事業(△0.2億円)、商事事業(△0.5億円)、設備事業(△3.3億円)

関東電化工業株式会社

6

## 基礎化学品事業部門

(単位:億円)

	2017/3	2018/3	差額
売上高	59	60	0.6
営業利益	1.8	△0.4	△2.2

### 【売上高】

- ・か性ソーダ…価格修正効果により増収。
- ・塩酸…販売数量の減少により減収。
- ・トリクロールエチレン…販売数量の減少により減収。
- ・パークロールエチレン…販売数量の減少により減収。

### 【営業利益】

- ・か性ソーダの価格修正効果はあるものの、原燃料費用の増加により減益。

## 精密化学品事業部門

(単位:億円)

	2017/3	2018/3	差額
売上高	329	379	49
営業利益	82	84	2

### 【売上高】

- ・三フッ化窒素…販売価格は低下したものの、販売数量の増加により増収。
- ・六フッ化タングステン…販売数量の増加により増収。
- ・六フッ化リン酸リチウム…販売数量は増加したものの、販売価格の低下により前期並み。

### 【営業利益】

- ・フッ素系特殊ガスの増収効果はあるものの、原燃料費・固定費の増加により2億円の増益にとどまる。

## 鉄系・商事・設備事業部門

(単位:億円)

	2017/3	2018/3	差額
売上高	71	73	2
営業利益	9	6	△2

### 【鉄系事業】

キャリアー・鉄酸化物の販売減少により減収。

### 【商事事業】

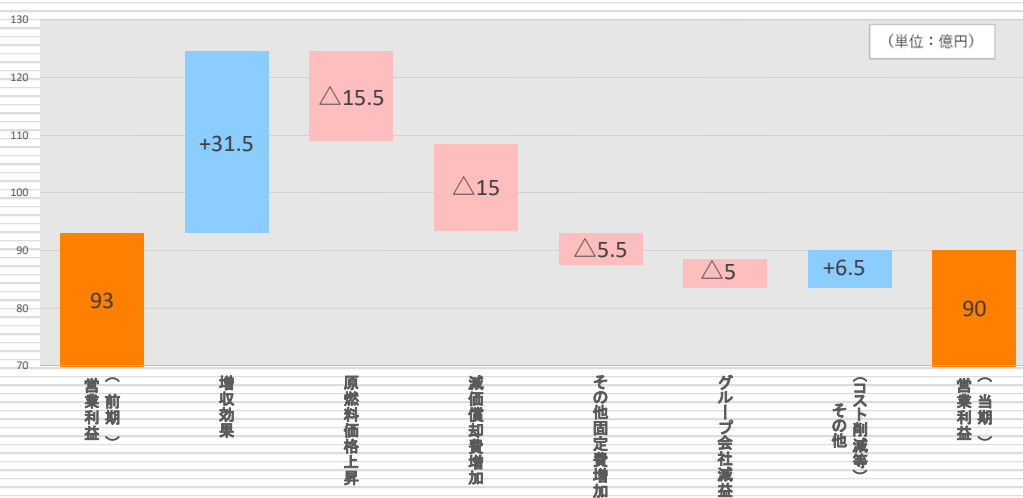
連結子会社である関電興産の化学工業薬品の販売増加により増収。

### 【設備事業】

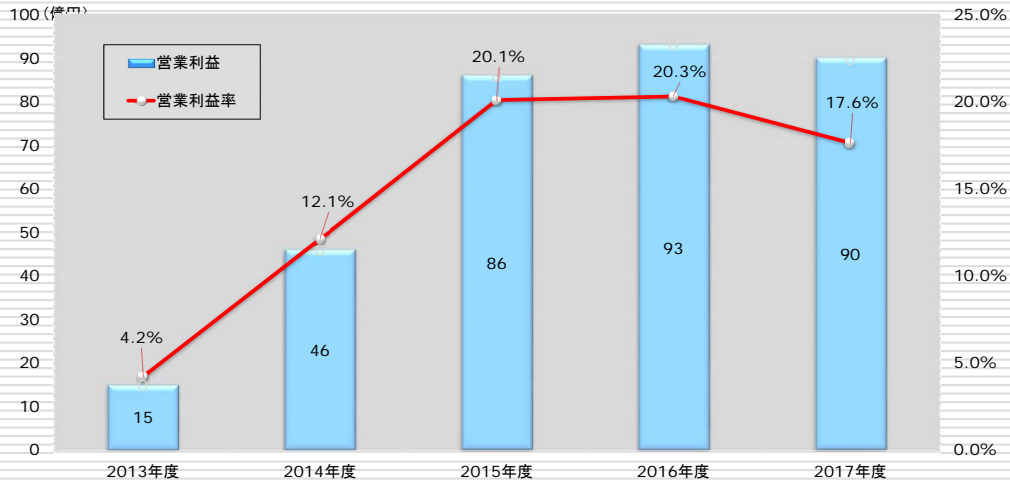
連結子会社である上備製作所の請負工事増加により増収。

## 連結営業利益差異分析(2017/3 対 2018/3)

(単位:億円)



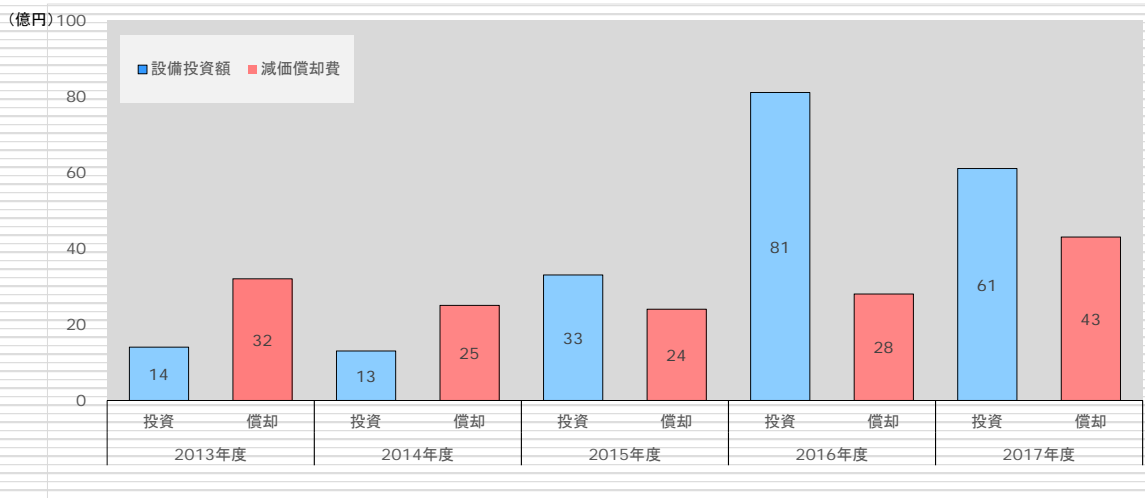
## 営業利益と営業利益率の推移(連結)



関東電化工業株式会社

11

## 設備投資・減価償却費の推移(連結)



関東電化工業株式会社

12

## 有利子負債・自己資本比率の推移(連結)



(注)リース債務を含む

関東電化工業株式会社

13

## 説明内容

1. 2018年3月期 決算の概要
2. 業績の見通し・今後の動向

関東電化工業株式会社

14



## セグメント別業績予想(連結)

(単位:億円)

	売上高			営業利益		
	2018/3	2019/3	差額	2018/3	2019/3	差額
基礎	60	70	9	△0	5.5	5
精密	379	431	51	84	71.5	△13
その他※	73	66	△7	6	5	△1
合計	513	567	53	90	82	△8

設備投資費	61	90	28
減価償却費	43	55	11
研究開発費	11	12	1

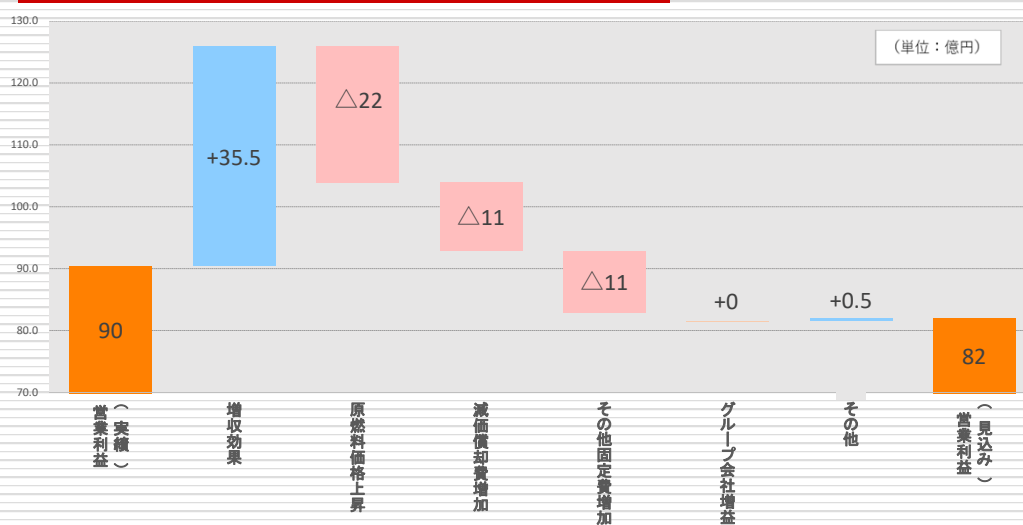
### 【業績予想前提】

為替レート : 105円/\$

原燃料費用: 2018年3月時点の情報に基づき作成

※その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。

## 連結営業利益差異分析(2018年3月期 対 2019年3月期)



## セグメント別業績予想(連結) 上期下期比較

(単位: 億円)

	2019/3 売上高			2019/3 営業利益		
	上期見込	下期見込	差額	上期見込	下期見込	差額
基礎	33	37	4	1	4	2
精密	206	225	19	31	40	8
その他※	33	33	0	2	3	1
合計	272	295	23	35	47	12

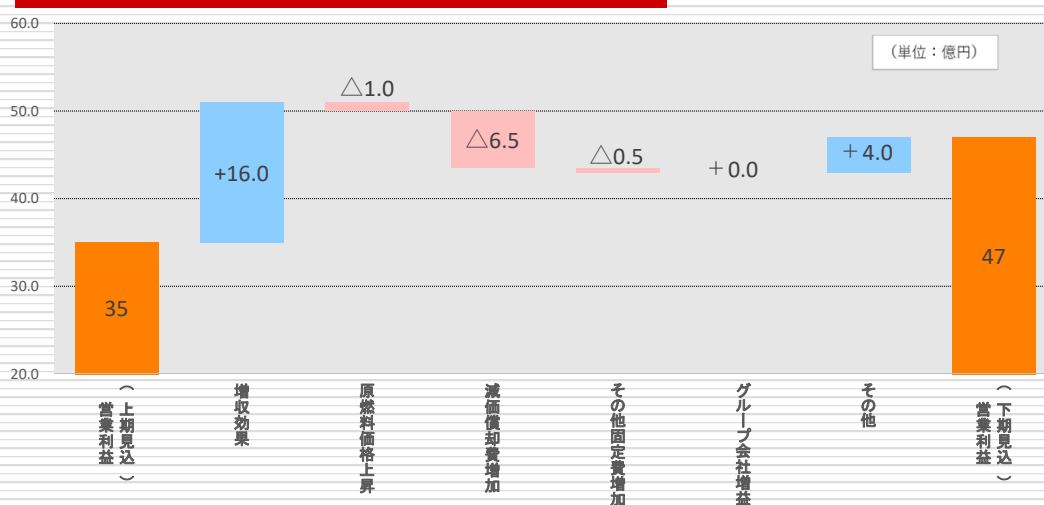
設備投資費	49	40	△9
減価償却費	24	30	6
研究開発費	6	6	0

※その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。

関東電化工業株式会社

17

## 連結営業利益差異分析(上期見込 対 下期見込)



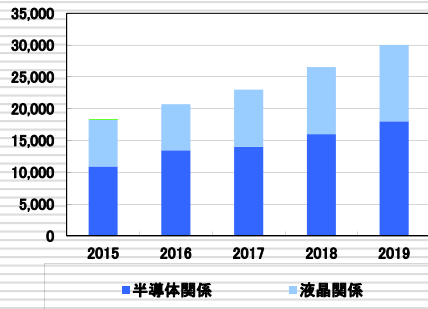
関東電化工業株式会社

18

## —主な製品の見通し— 三フッ化窒素(NF3)

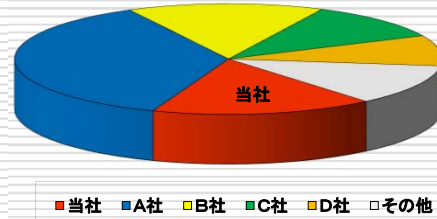
- 半導体・液晶製造プラズマCVD装置のチャンバークリーニングガス
- 3D NAND、OLED向け需要が増加
- 製造能力 3,500t/年 ⇒ 3,700t/年(2018年8月予定)

【需要動向(2018年度以降は予想)】



【現在のシェア予想】

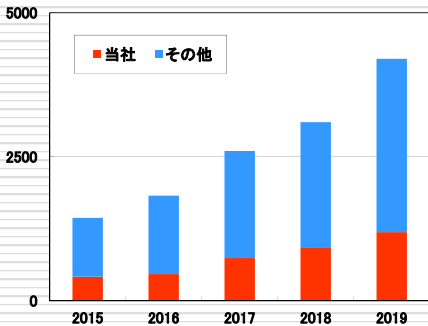
当社シェアは約2割



## —主な製品の見通し— 六フッ化タングステン(WF6)

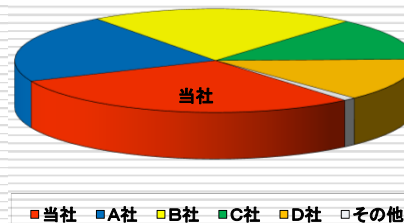
- 半導体用配線材料ガス
- 3D NAND向け需要が増加
- 生産能力300t/年 ⇒ 720t/年(2016年11月) ⇒ 840t/年(2017年08月) ⇒ 増設検討中

【需要動向(2018年度以降は予想)】



【現在のシェア予想】

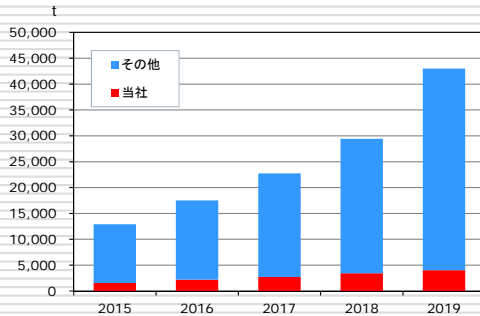
当社シェアは約3割



## ー主な製品の見通しー六フッ化リン酸リチウム (LiPF<sub>6</sub>)

- リチウムイオン二次電池の材料である電解質
- EV等の車載向け需要が本格化
- 現在の製造能力は5,400t/年

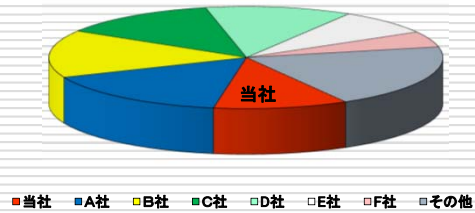
【需要動向(2018年度以降は予想)】



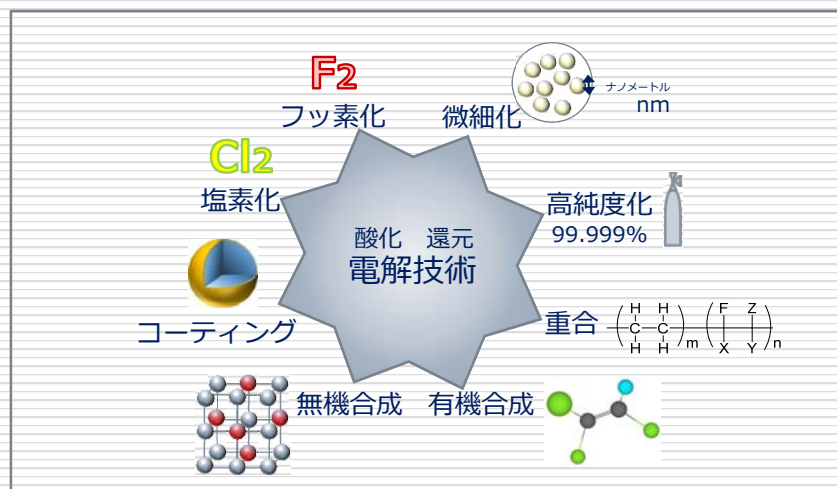
【現在のシェア予想】

当社シェアは1割台半ば

車載用電池  
電池特性、安全性等の要求が強い  
高品質のLiPF<sub>6</sub>が必須となる



## 当社のコア技術



## 創造的開発型企业へ



## 注意事項

- 本資料は、金融商品取引法等のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なります。